

【 8月の予定 】

- 21日(水) : 中学3年生交流会 9:15~
(上灘コミュニティセンター)
- 20日(火) : 子ども料理教室 9:30~
- 22日(木) : にこにこサロン 10:30~

今月の人権カレンダー

- 2日 第49回人権尊重社会を実現する
鳥取県研究集会(倉吉市)
- 6日 広島平和記念の日
- 9日 長崎平和記念の日
- 15日 終戦記念日
- 18日 部落解放研究第52回倉吉市集会

第3回倉吉市人権のために学ぶ同和教育講座 病気に関わる人権

「たかが搬送、されど搬送」~自分らしく生きることの寄り添って~

講師の上野さんは、中部初の民間救急患者等搬送事業者の認定を受け、活動をされています。民間救急事業を始められた理由、利用者や家族に寄り添い自分らしく生きる権利についてのお話をさせていただきます。

- 日時 8月31日(土)
13:30~15:00
- 会場 倉吉交流プラザ視聴覚ホール
(倉吉市立図書館2階)
- 事前申込み不要 ○手話通訳付



生活で困っていることはありませんか？

家族のこと・お金のこと・就職のこと・将来への不安など、どんなことでもどうぞ悩んでいることがあれば1人で抱えこまずにご相談ください。相談された内容は秘密厳守いたします。はばたき人権文化センターまでご相談ください。



差別落書きや差別発言などに遭遇した場合は、倉吉市人権政策課、又は、最寄りの人権文化センターまでご相談ください。

倉吉市市民生活部人権政策課 Tel0858-22-8130
はばたき人権文化センター Tel0858-22-0232

はばたき人権文化センターだより

はばたき

発行:はばたき人権文化センター
住所:〒682-0872
倉吉市福吉町2丁目1514-7
電話:0858-22-0232(FAX兼)
E-Mail:habataki@ncn-k.net



8月号 NO.428 (2024年8月1日発行)

部落解放研究第52回倉吉市集会が開催されます

どなたでも参加できます。ぜひおいでください。



- 日時 8月18日(日) 午前10時~午後3時 (受付開始 午前9時30分~)
- 会場 エースパック未来中心、倉吉交流プラザ
- 研究主題 「お互いを認め合い、安心して暮らせる人権尊重のまちづくりをめざして」
~多様な人権課題を通して、人々がつながり合うことの大切さをあらためて考える~
- 講演会 演題: 家族のなかの人権問題を考える
DV・虐待・モラルハラスメントをとおして
講師: 中村 正さん (立命館大学特任教授/一般社団法人 UNLEARN 代表理事)

分科会

- 第1分科会 地域社会と人権 エースパック未来中心セミナールーム3
- 第2分科会 子どもの人権 倉吉交流プラザ視聴覚ホール
- 第3分科会 同和教育 倉吉交流プラザ第1研究室
- 第4分科会 障がいのある人の人権 エースパック未来中心小ホール
- 第5分科会 ハラスメント エースパック未来中心セミナールーム1・2



問い合わせ: 部落解放研究第52回倉吉市集会実行委員会事務局 (人権政策課内) 0858-22-8130

◆にこにこサロン◆

にこにこサロンは、多くの方が気軽に立ち寄り、楽しい時間が過ごせる居場所として毎月1~2回開催しています。

どなたでも参加できます。ぜひ多くの皆さんがお越しください。

7月はこんなことをしました

作品づくり・お出かけ

解放文化祭に向けて作品づくりをしました。どんな作品に仕上がるか楽しみですね！

今回のお出かけは、琴浦町の神崎神社、大山乳業へ工場見学に行きました。龍の彫刻が壮大で圧倒されました。



8月の予定

日時	8月22日(木) 10時30分~13時
内容	避難訓練・民話の会による朗読劇
参加費	200円(昼食代)

●どなたでも参加できます。誘い合わせてご参加ください。

●子ども料理教室● 料理は楽しいよ・みんなで作って食べよう

日時 8月20日(火) 9時30分~13時

場所 はばたき人権文化センター

内容 料理教室

参加費 無料

申し込み先 はばたき人権文化センター (電話 22-0232)



8月15日は終戦の日です

平和への祈りが各地で捧げられ「悲劇を繰り返さない」と思いを新たにする1日です

1945(昭和20)年8月6日午前8:15に広島、3日後の8月9日午前11:02には長崎に原子爆弾が投下され、69万人以上が被爆しました。

第二次世界大戦は、世界史において最も悲劇的な出来事のひとつであり、多くの国や人々に深い影響を与えました。

世界各地では今も紛争が続いていて、苦しんでいる人がたくさんいます。

なぜ戦争・紛争は起こるのか、イスラエルとハマス、ロシアとウクライナの先の見えない争いなど、2024年の今もなお、民間人を巻き込んだ惨劇は続いています。

民族や宗教の異なる人々、国などの主体が、資源・領土・政治権力などを獲得しようと争うことで紛争は起きてしまいます。

戦争や紛争をなくすために私たちができることは…

現状を知り、問題に関する理解を深めること、その歴史について学ぶことで同じ過ちを繰り返さないための教訓を得たり、異なる文化や背景をもつ人々との共感や理解が深まり、平和を推進し人権を守るための行動を起こすことができます。

戦争という行為の愚かさ、悲惨さ、恐ろしさ、そして「平和」の尊さは、その加害者であり被害者でもある我が国が、世代を超えて永遠に伝えていかなければなりません。



戦争を直接知る世代が少なくなる中、戦争の記憶をどう風化させずに継承していくのか、大きな課題となっています。